

平成27年1月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成27年1月28日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|---------|
| 委員長 | 築 瀬 眞知雄 |
| 委員長職務代行者 | 大 庭 文 武 |
| 委員 | 岡 本 潤 子 |
| 委員 | 武 輪 節 子 |
| 教育長 | 伊 藤 博 章 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|---------|
| 教育部長 | 佐 藤 浩 志 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤 田 多嘉男 |
| 教育部次長 | 嶋 脇 郁 夫 |
| 図書館長兼市史編纂室長 | 藤 田 俊 雄 |
| 学校教育課長 | 齋 藤 信 哉 |
| 教育指導課長 | 正部家 光 彦 |
| 社会教育課長 | 田 中 勉 |
| 是川縄文館副館長 | 前 田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 木 村 一 夫 |
| 博物館副館長 | 小笠原 善 範 |
| 図書館副館長 | 千 葉 玲 子 |
| 教育総務課参事 | 尾 崎 雅 祥 |
| 学校教育課参事 | 茨 島 隆 |
| 東地区給食センター所長 | 中 里 親 弘 |
| 西地区給食センター所長 | 清 川 彦 一 |
| 博物館参事 | 古 里 淳 |
| 教育総務課主幹 | 松 橋 洋 |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正樹

<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまから、平成27年1月の教育委員会定例会を開会いたします。 本日の議事録署名は岡本委員を指定いたします。 それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いします。</p>
<p>伊藤教育長</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。はじめに、議案第1号「八戸市社会教育委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>田中社会教育課長</p>	<p>(議案第1号「八戸市社会教育委員の委嘱について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、議案第1号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第1号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>次に、議案第2号「八戸市子ども支援センター条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>木村総合教育センター 一所長</p>	<p>(議案第2号「八戸市子ども支援センター条例の制定について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>この条例ができるということに関しては、教育委員としても大変画期的なことといえますか、新しいものが出来上がるということで、今の委員会だけではなく</p>

てこれまでの委員会が積み上げてきたものと、学校教育現場で抱えている課題についてこれが大変大きな役割を果たしていくであろうという未来的な方向と、私もこの委員のメンバーになってからだいぶ経ちますけれども、非常に大きなことだなと心情的には大変嬉しいなというふうに思っております。ここに至るまでの皆様方のご努力と、それから学校現場での踏ん張りといえますか、特別の支援を要する子どもたちが増えているという状況もいつも委員会の話題になりますが、それらの課題にもっと総合的に向き合っていける足掛かりが大きくまた一歩前進できるということで大変嬉しく思っております。

今の所長の説明の中に、「課を越えて」という言葉があったんですけども、この課を越えるということもこの委員会内ではよくできていることでも、今度は委員会と市長部局とか、子どもを取り巻くすべての課にそれが波及することを私自身も強く願うところでありまして、これまでも何度も意見として申し上げてきたんですけども、それらについてのことを少しお聞きしたいと思います。この課を越えてということと、今後の展望的なことについて、この場でお話しできる範囲でよろしいのでお話をいただきたいなというふうに思っております。

木村総合教育センター
一 所長

これにつきましては、何年先になるかは分かりませんが、八戸市総合保健センターの設置に向けて、市教委としては、まず、子ども支援センターを教育センターの中に設置してこれから取り組んでいくところです。

連携につきましては、月に1回または1ヶ月半に1回くらい庁内会議ということで、こども家庭課や障がい福祉課などいろいろな関係課と、建物や業務分担について練り合わせていっているところです。

そこまでいった段階での条例について、委員会として今日出したということでございます。

岡本委員

今お答えいただいて、今までできていなかった、横というか縦というか連携するということについて、市全体でのお話し合いも出来てきて形になってきているので、是非さらに一歩進むことができればいいなと思います。その一番最初の本当に一歩を登るという感じで、それはこれからも委員会全体でも八戸市全体でも小林市長にもお願いしたいところだなというふうに思っています。

皆さんもよく煉瓦職人の話を聞いたことがあると思うんですけども、煉瓦を積んでいる人に対して「あなたはなぜ煉瓦を積んでいるんですか」と聞いたときに、一人目は「僕は煉瓦を積んでいるだけさ」という職人と、二人目は「ここに大きな壁を作るのだ」という職人と、三人目の職人は「ここに大きな聖堂を作るんだ」というふうにして、自分たちが歴史に残す仕事をしているんだということを三番目の人が言うというのは、よく例えに出る話です。教育というのは、本当に小さなことでもすごく大きなことに繋がっているということを委員会全体で

<p>大庭委員</p>	<p>持ち合って、それが八戸市全体に繋がって子どもたちのためにできる。ただの煉瓦の一積みなんですけれども、それが大変大きなことだなと大変嬉しく思っていますので、今後も見守っていったりとか、委員会全体でさらに意見を交換し合っ ていいものになればいいなというふうな感想を持っております。</p> <p>私は、将来のこども支援センターの展望と伺いますか、お願いみたいな形でお話しさせていただきます。こういう形で支援を要する子どもたちを横の関係も取り、縦の関係も取りながら見ていくということで、やはり縦割りの中で画期的なことかなと思っております。お願いと伺いましたのは、そういう子どもたちは、中学校卒業段階で生活が終わるわけではなくて、その後も続いていきます。八戸市の一人の人間として成長していくことになるわけです。このこども支援センターの活動について、やがてはという願望ですが、今ここで例えば中学校を卒業した生徒までとなると、これは八戸市の教育委員会の手には負えない部分もあるかと思っておりますので、これがうまく発展していく中で、中学校を卒業した生徒をどう高校に接続してやればいいのかとかですね。すべての高校生を引き受けてくださいという意味ではございません。高校への接続ということも視野に入れながら、この支援センターが発展していったくれればいいなというふうに願っております。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>このこども支援センターが立ち上がるにあたって、私たちは昨年8月にも教育委員会として視察をさせていただいたわけですが、その第一歩としてこのような形で動き出したということは私も大変嬉しく思っております。また、期待も大変大きいものですので、課を越えてというようなお話が先ほどからありますが、柔軟な姿勢で子ども一人を成人するまで八戸市として見届けるという形で、教育委員会としては児童生徒という枠にはまりがちですが、その枠を超えて大きな期待を裏切らないように伺いますか、その30年度の総合保健センターに向けて、第一歩を踏み出したことを嬉しく思いつつ、そのさらに期待を大きく膨らませておりますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>何か補足はありますか。</p>
<p>木村総合教育センター所長</p>	<p>今お二人の委員さんから出たことですが、これはまず市教委がやりますので、児童生徒となると中学校卒業まで15歳までということで始めますけれども、例えば今うみねこ教室に通っている子どもが、高校に進んでからちょっとつまずいて、また支援センターに話を聞いてくれと来るとか、そういうふうな場合は当然シャットアウトするものではありませんし、話を聞いてアドバイスもします。それから、中学校までまったかうみねこ教室とも関わりのなかった子どもも、</p>

	<p>そういう話を聞いてどうすればいいんだろうと来る場合もあります。それについてもシャットアウトするものではなく、きちんと話を聞き、その子に合ったまた別な機関があると思いますので、そういうところに繋げて、その子に対する支援を断ち切るものではありません。それは、第4条の「ただし、特に必要と認めるもの」というところに対応したいと考えていますので、そのように進めていきたいと思います。</p>
大庭委員	<p>はい。その辺のところも含めていただければということでお話しました。</p>
築瀬委員長	<p>私も3人の委員さんと同じような考えをもっています。子ども支援センターは、事務局はもちろんですが我々教育委員も含めて、あるいは本当に困っている子どもたち、親、そういう方々の長年の願いを達成するための一歩であり、スタートに着いたということで大変嬉しく思っています。新たな組織、内容ということこれから考えていかなければならないと思いますので、様々な困難があると思います。また、進捗状況によっては様々な動きがあると思いますが、今所長さんからもお話があったように柔軟に対応しながら、子どもたちのために進めていただければ有り難いなと思っております。</p>
築瀬委員長	<p>それでは、議案第2号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
築瀬委員長	<p>ご異議がありませんので、議案第2号を原案のとおり決定いたします。</p>
築瀬委員長	<p>次に、議案第3号「八戸市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
齋藤学校教育課長	<p>(議案第3号「八戸市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)</p>
築瀬委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
築瀬委員長	<p>それでは、議案第3号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第3号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>次に、議案第4号「八戸市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>(議案第4号「八戸市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>私が委員に就任してから、この奨学金についてはいろいろ発言させていただいておりました。高校在学中あるいは大学在学中において、かなり経済的に苦しい子どもたちも増えてきているという状況も踏まえて、特に今回新設する第二種特別奨学金、給付するという形のもを設定していただいたというのは、生徒たちにとって本当に有り難い制度だというふうに思っております。</p> <p>当然その子どもたちは、国のものも利用しているわけですが、それとはまた違った形で市でもこういうものがあるということが、生徒たちにも知れ渡っていけばいいなど。こういう形の支援もあるんだということで、利用してもらえればいいなど思っております。</p> <p>財源としては、おそらく八戸市学生寮がなくなってその跡地利用の収入が充てられていると思いますので、時代が変わって、我々がいたころはやはり学生寮というのが必要だったと思うんですけども、今の時代は学生寮ということよりもこういう形で生徒たちをバックアップしていければ、いい形で学生寮の跡地の活用にもなるのかなと考えております。こういう形で進めていただければ大変有り難いと思います。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>私もとても良い制度ができたなというふうに喜んでいるんですが、今後の継続の可能性といいますか、今の時点ではなかなか将来的なことは難しいかもしれませんが、良い制度なので是非継続してほしいと思っています。人数的なこととか、将来的に継続していく可能性が高いのか。そのあたり差し支えない範囲で、先ほどの大庭委員の話と併せながらお願いしたいと思っています。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>今回、この給付型奨学金というのを実施するわけですが、やはり一番の大きな課題は恒久的な財源の確保でございました。これにつきましては、先ほど大庭委員さんからもお話があったように、元八戸市学生寮跡地の賃借契約を見直して、その賃借料を主な財源としております。加えて、ふるさと寄附金という制</p>

	<p>度で、当市に対しても理解を示していただく方が大変多くなってきて、そちらの財源もまた増えつつあります。そういったものを財源としながら、給付型については、今回は高校生が 10 人、大学生は 2 人というふうに人数を示しましたが、今後はこれからの状況も見て正式に決めていきますが、拡充していきたいという方向で考えております。これは従来からの貸与型の奨学金とのバランスも考えながら、やはりこれからは給付型を増やしていく方向が子どもたちにとっては一番いいのではないかと考えております。具体的なことについては、来年度、再来年度やってみて、また状況を見ながら方向性を見出していきたいと思います。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>大変いい取組だと思いますので、是非続けていただきたいと思います。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>今回このような形で新設されたことは私も嬉しく思っております。息子も中学生でおりますが、奨学金に対しての便りというのは、学校を通して子どもたちにけっこうな数、配付されることがあります。今回は、資格として成績が 4. 0 以上というのがありますけれども、給付型ということで利用しやすいと思っておりますので、是非大きく PR していただいて皆さんに周知していただきたいと思っておりますので、その辺で今までと違う形で周知する方法や手立てなどが何かございましたらお話しいただければと思います。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>今、武輪委員さんからお話があったように、我々もこの奨学金の制度をいかに広く市民の方々に周知していくかが大きな課題であると考えています。</p> <p>今回、この高校生の枠を大きくしたのは、これはただ単に大きくしたかったからということではなくて、理由が 2 つあります。</p> <p>まず 1 点目は、今は国も含めて様々大学生に対する奨学金制度がだいぶ手厚くなってきています。一方で高校生の奨学金を見たときには、やはりどうしてもまだまだ不足している部分があるのではないかとというのが、1 つの大きな理由です。</p> <p>もう 1 点は、本県の子どもの進学状況を見ると、これは文科省の 2014 年 10 月の調査結果なんですけど、全国の大学進学率が約 54% で、本県にあたっては 38% ということで、まだまだ一部のものが大学に進む傾向が強いということを考えてときに、高校の進学率は 100% に近いと。そういったところを見たときに、やはり困窮している家庭は多いのではないかとということなので、今回は高校生を重点的にサポートしていこうということで、人数を定めたということです。</p> <p>そういったようなことも含めて、これから広く市民に周知していかなければならないと考えていました。手段的なことについては、これからまた市の広報や、そういったものを活用していきたいと考えております。</p>

築瀬委員長	<p>それでは、議案第4号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
築瀬委員長	<p>ご異議がありませんので、議案第4号を原案のとおり決定いたします。</p>
築瀬委員長	<p>次に、議案第5号「八戸市公民館条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
田中社会教育課長	<p>(議案第5号「八戸市公民館条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)</p>
築瀬委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p>
武輪委員	<p>今ご説明がありましたので分かりましたが、附属設備使用料の附属設備というのは、その輪転機を指すということでしょうか。</p>
田中社会教育課長	<p>はい。現段階では、輪転機ということになります。</p>
武輪委員	<p>はい。分かりました。</p>
築瀬委員長	<p>それでは、議案第5号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
築瀬委員長	<p>ご異議がありませんので、議案第5号を原案のとおり決定いたします。</p>
築瀬委員長	<p>次に、議案第6号「八戸市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
藤田図書館長	<p>(議案第6号「八戸市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)</p>
築瀬委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、議案第6号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第6号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>次に、議案第7号「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う条例の整備に係る意見について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>澤田次長兼 教育総務課長</p>	<p>(議案第7号「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う条例の整備に係る意見について」基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、議案第7号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第7号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>次に、議案第8号「八戸市南郷スクールバス運営規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>(議案第8号「八戸市南郷スクールバス運営規則の一部を改正する規則の制定について」基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、議案第8号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第8号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>次に、議案第9号「八戸市南郷教職員住宅規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>澤田次長兼 教育総務課長</p>	<p>(議案第9号「八戸市南郷教職員住宅規則の一部を改正する規則の制定について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、議案第9号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第9号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>次に、議案第10号「八戸市図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。</p>
<p>藤田図書館長</p>	<p>(議案第10号「八戸市図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>1つ質問させていただきたいと思います。この個人貸出登録申込書の中で、新旧対照表を見ると、改正前は申込区分のところに「パスワード発行」というのがなかったのですが、今回の改正後は「パスワード発行」というのが付け加えられております。この「パスワード発行」というものはどういうもので、どういうふうにご利用されるのかということと、あとこの申込書に関しては、これから新規又は更新される方々は随時使うという形で、新しくなるので皆さん書き換えてくださいということではないということよろしいでしょうか。</p>
<p>藤田図書館長</p>	<p>武輪委員からご質問がありましたとおり、申込書に「パスワード発行」というのが追加になっています。これは、インターネット予約をする際に必要な事項と</p>

	<p>いうことで付け加えたものです。また、すでに登録している方については、今までの登録のままで大丈夫です。新規に登録される方については、新しい様式で対応していただくことになります。</p>
武輪委員	<p>ちなみに参考までにお聞きしたいのですが、登録されている人数というは今何人くらいいるんでしょうか。</p>
築瀬委員長	<p>もし今資料がなければ、あとでどれくらいの利用者がいるのか教えてもらえればと思います。</p>
藤田図書館長	<p>分かりました。あとでご報告します。</p>
築瀬委員長	<p>よろしくをお願いします。</p>
築瀬委員長	<p>それでは、議案第 10 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
築瀬委員長	<p>ご異議がありませんので、議案第 10 号を原案のとおり決定いたします。</p>
築瀬委員長	<p>以上で議案の審議は終わりました。</p> <p>次に報告事項に入りたいと思います。はじめに「平成 26 年度第 3 四半期の業務報告について」は、事前に資料が配付されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたらお願いいたします。</p>
武輪委員	<p>12 月に行われました「教育の広場 in はちのへ」について、この業務報告の中には明記されていないのですが、この教育の広場について報告をいただきたいなと思います。</p>
正部家教育指導課長	<p>アンケートの中からということでもよろしいでしょうか。寄せられたアンケートがございまして、その中にいろいろな要素がありますので、ご紹介いたします。</p> <p>「我が校自慢の展示は、いろいろ子どもたちが写真を使ったり、絵を入れたり工夫して紹介していると思いました。各校の特徴が子どもの目線で紹介されており、大変興味深かったです。学校のことや地域のことを知る良い機会だと思いました。先生方の指導は大変かと思いますが、自分の学校、地域に誇りをもつことが大切だと思う。」ということが 1 通目です。2 つ目は、「どこの学校も自分たちの学校がとても大好きという感じが見て取れました。各校の活動にそれぞれ興</p>

<p>武輪委員</p>	<p>味深いことがあり、勉強になりました。力作がいっぱいで見応えがありました。」 ということです。それから3つ目は、「学校へ市民として協力したい気持ちになりました。市民が学校へ協力できる手順を市教育委員会のほうでも提案してほしい。子どもたちの新聞に感動しました。」というような感想でございます。</p> <p>小・中学校の子どもさんがいらっしゃらない方々もというふうな意図があったわけですが、「4月から娘がお世話になる学校の様子がよく分かりました」とか、あるいは「自分の母校の新聞を見て懐かしかった」というようなご意見もいただきました。</p> <p>講演会のほうも、2度お話いただきましたけれども、大変好評だったということでお話いただいております。</p> <p>今年もまた引き続きやる予定があれば、是非私も皆さんに周知していただくようにPRしたいなと思っております。講演の内容も私は大変良かったなと思えますし、展示なども今お話を伺っていてこれから小学校に入る方も見ていただいたというのは、非常に良かったなと思えます。また、卒業させた保護者の方々も、その後どういふふうな形でということも見ていただきたいと思えますので、是非私もPRしていきたいと思っております。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>付け加えます。第2回目ということで、来年度は、時期も秋がいいのではないかといいようなご意見もいただきましたけれども、まず「はっち」でやりたいというのが第一にございまして、第1回目が終わった時点ですぐ交渉に行きましたところ、9、10、11月とずっと空いておりませんでした。それで、これは決定事項でございますが、12月26日（土）と27日（日）、土日に行きたいと思えます。</p> <p>今年と違う点は、1つは、今年は金土とやったものを土日にしたということ。それから、一般的に年末年始は29日からということで、その後に28日がありますので、ちょっとその辺が違うかなと思っております。12月26日、27日に第2回教育の広場を実施ということで、学校の行事カレンダーのほうにも掲載してございますので、お知らせいたします。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>関連して、来年度も日程が決まったようですので、ちょっと感じたことをお話しさせていただきます。</p> <p>一つは、各学校でせつかく学校紹介の模造紙のものを作っていただいたんですが、例えばお年寄りの方が入ってくると、字が小さくてなかなか留まって見られないという状況がちょっとあるのかなということがありました。それで、会場の関係でなかなかもう少し模造紙を大きくというのは無理なのかもしれませんが、もう少し大きな字体で書いてもらえれば、お出でになった方ももう少し見やすいのかなということの一つ感じました。</p>

	<p>それから、来年度も実施ということであれば、例えば各学校の文化祭のときにもうこのことを意識していただいて、校門とか玄関の入口にでも、これが我が校の紹介ということで12月にも展示になるものですよというようなことで意識してスタートしていただければ、その文化祭と兼ねた形でその場も使えるのかなというふうなことを感じました。</p> <p>それからもう一点、これは有り難いなと思ったことで、各学校の廃棄処分になった本を無料で配布されていたわけですが、これはもう廃棄して差し上げる本ですということを明記したラベルを本当に丁寧に貼っていただいて、私は簡単に寄贈とか贈とかいう判子くらいでも何か目印があれば貰った方が安心してうちに持って帰れますという発言をしたのですが、事務局のほうで本当に丁寧なシールまで作っていただいて、それを中学生が手伝ってくれていたんですね。それを見て、ここまで配慮していただいたというふうな思いで有り難いなと思っておりました。</p>
武輪委員	<p>12ページの総合教育センターですが、3番の教育相談・適応指導教室事業で、10月から12月の相談状況の最後の一行に「教育相談の周知が進み、来所相談が増加」ということで、私としては相談が増えて良かったなというふうなほうで見ております。この教育相談の周知が進んだというのは、何か新しい試みがあったのか。この増えた理由として、何か動きがあったのかなというふうに読み取ったのですが、何か特に大きなことがあったのでしょうか。</p>
中奥総合教育センター指導主事	<p>教育相談の周知が進んだというのは、特別にこの10月から12月にかけて大きい周知をしたわけではございません。ただ、今までの地道な活動で学校の先生方にも周知が進んで、保護者さんに「こういうところがあるからどうぞ相談に行ってみてはどうですか」というふうに声を掛けていただいて、そういうふうに先生から紹介されるとか、あとは病院とかそういうところからも薦められて来ましたという方が増えております。昨年度の10月から12月は199回と書いてありますが、来所相談が326回ですので、この3ヶ月だけでも127回ほど来所相談が増えております。電話相談のほうは、一月につき40回程度ですので3ヶ月としても120回程度なので、やはり電話で相談するよりも直接行って相談したほうが早いというふうに、本当に保護者の方々にも認知されてきているんだなということを感じております。</p>
武輪委員	<p>この教育相談が周知されて進んで相談が増えているということは、先ほどの条例にもありましたが、子ども支援センターのところにも大きく関わってくるのではないかなと思います。やはりそこに行けばお話を聞いてもらえる。そして、子どもに対して何か手立てがあるということが皆さんに分かってもらえるように、</p>

<p>岡本委員</p>	<p>またさらにこの教育相談また適応指導教室についても進めていただきたいと思っております。ありがとうございます。</p> <p>図書館、博物館、是川縄文館、南郷も含めてなんですけれども、いわゆる学校現場とは別のそういう機関で様々な企画をしていて、この業務報告等で毎回拝見しています。</p> <p>先日、なぜここがこんなに混んでいるのかと思いましたが、今は教育委員会を離れましたが美術館が相当混んでいるということで渋滞になっていました。あそこにかんりの人が行っているというのは、何を企画しているかという皆さんご承知のとおり猫なんですけれども、皆さん興味関心があって足を向けることとか、こういう見出しとかやり方とかいろいろあるのかなと思います。猫好きの人が多いうことを私も知ったんですけれども、やはりそういう見出しを付けて人を呼ぶ。新聞の方も見出しを付けるというのはすごく難しいなと思っていて、同じことをやるんだけど、例えばえんぶり展とかひな人形展は毎年開催していただいています、子どもたちも楽しみにはしているんですけれども、市民の皆様をやっていることがより伝わりやすいように。今の世の中は、言葉に慣れていると言ったら変ですけども、言葉が多すぎるので、特別な言葉でなければ伝わりにくかったりとか、面白さを特別出さないとなかなか注目を引かなかったりとか、いろいろあると思います。こういう見出しというのもいろいろ工夫なさっていると思うんですけども、さらにすることによって人が来るのかな。人のことは言えませんが、なかなかこう限られた人しか足が向かないというのは、そういうことなのかなと思いつつも、面白くする工夫というのが必要かと思つきます。</p> <p>例えば、以前博物館で新聞ではなかったんですけども、プチ新聞というんですか。それぞれの新聞社が出している広告のような媒体でボランティアさんのことが大きく写真に載られて出ていたような、ああいう周知の方法とか。何かそういうメディアも使って、人が動くというようなことも必要なかな。いつもいいことをやっつけていっちゃうので、そういう仕掛けづくりというのも今後ますます必要になるのかなというふうに思っておりますので、これは感想なんですけれども述べさせていただきます。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>私からも、先ほどの「教育の広場 in はちのへ」は業務報告にはないので、詳しくは触れませんが、このことについては、これから具体的な企画とか内容の精査に入るので、その際にまたお互いに教育委員も含めて情報交換させていただければ有り難いなと思つています。特に参加人数のこととか、時間的な配分のこととか、様々な課題があったと思うので、それを共有しながらより良いものにしていければいいなと思つています。</p>

業務報告の中で一つ 15 ページですが、図書館の行事の中に「図書館を使った調べる学習コンクール」があります。これについては、私たちにも情報提供が図書館からあつたりしているのですが、感想なんです、この最優秀賞の「南部氏はぼくのヒーローだ！」ですね。これが全国コンクールで2番目の観光庁長官賞をいただいたということ。それから優秀賞2点とあるのですが、このうちの1点が全国展に推薦されていて、それが「イカス☆イカスミ大研究！」というものだったのですが、それが佳作ということで、嬉しかったのはこの推薦された2作品とも全国コンクールで入賞しているということ。それからその入賞ということもあるのですが、どちらの作品にも共通しているのが、地元八戸に根差したものだということなんです。先ほどもちょっと言いましたが、ふるさと八戸に対する誇りや愛着を育むという大きな市教委の目標があるんですけども、そのことに則した実践となっているということに、非常に大きな感慨を覚えました。

特に「南部氏はぼくのヒーローだ！」は、わざわざルーツである山梨県の南部町まで行って調べてきていると。本人と会話をする機会があつたんですが、3年生なんですけれども、「どうだった」と聞いたら、「膨大な資料と写真とかで、1日に1ページしか進まなかったんだよ」と話してくれたんです。何十ページもあるんですけども、じゃあ何ヶ月かかったのかなというふうに考えて「大変だったね」と言ったら、「いや楽しかったです。こういうの好きです。」と言うので、先ほどの成人式と同じように、非常に頼もしく覚えました。やはりこの郷土に誇りをもって、ルーツを探ってさらに誇りをもつという、こういったことが行われていて、嬉しかったなと思っています。

イカスミ大研究も実際にイカスミを使って習字を書いたり、いろんな使用法があつたり、そういう具体的な研究だったんですね。ですから、そういった郷土に根差した研究が進んでいるということに非常に嬉しく思っていました。

それこそ今岡本委員からもあつたのですが、図書館でこの展覧会が開かれてるんですが、藤田館長さん何かその後の反響などはありましたでしょうか。

藤田図書館長

私も初めてこの審査に加わらせていただいて、小学校の代表の子どもたちが遠野と八戸の交流事業ということで遠野市に行ったりしているんですけども、その感想とかを聞くと、よくカッパ淵に行ってきたとか、馬を見てきたとか、そういう感想が多いような感じなんですけれども、まさしくこの吉野元君の研究が南部氏のルーツを訪ねるということで、南部町にも行ってきたり、あちこち周って調査したりしていたので、大変驚きました。そういう意味で、その吉野君が感想の中でお話ししていたのが、「大人向けのそういう歴史書はいっぱいあるんだけど、子ども向けのものがない」という感想を述べていまして、その点に関してやはり教育委員会としてもちょっと宿題をもらったかなというふうに思っています。

<p>小笠原博物館副館長</p>	<p>また、こういう優秀作品が出てきたということで、他に出品している子どもたちにも大きい良い影響が与えられたんじゃないかなと思っています。</p> <p>藤田館長からの話にも出ましたが、博物館にも実際調査に来まして、学芸員が対応したんですけれども、やはり子どもが読めるような本がないと。理解できないということが結構ある。それから難しい漢字が多過ぎると。そういうことでだいぶ苦労したということですが、私も作品を読みましたが、あれだけやるということはやはり自分の気持ちの芯が強い子だなということと、それに対して親も協力を惜しまなかったということが、結果に繋がったのかなと思っています。</p> <p>今後は博物館でも、図録を作る際には学校の副読本みたいな感じの内容でかなりフラットにしたいなという気持ちはありまして、去年の特別展の「八戸と9人の藩主」でも、かなり砕いたような感じにしましたので、そういう感じの本を今後作っていく必要もあるし、一般出版ももう少し子ども向けに種類があってもいいのかなというのが素直な感想です。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>博物館からも補足していただいて大変ありがとうございました。どちらにも通じて言えるのが、子どもが調べたいというときになかなか調べにくいところがあるような印象を受けましたので、そういった点をこれから改善したいというきっかけにもなったようで、大変良かったなと思っています。ありがとうございました。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それでは、よろしいですか。それでは業務報告のほうを終わりたいと思います。</p> <p>次に、「平成26年度第4四半期の主な事業予定について」委員の皆さんから質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>2ページの2番の市立小・中学校の適正配置のことですけれども、これについては国のほうでも統廃合に関連して指針を発表したところですが、私が思っているのは、八戸市の場合は、短期、中期、長期ともうすでにその計画が作成されておりまして、むしろ八戸市のこの適正配置に関わる計画は進んでいるのかなというふうな印象をもっております。現在ある八戸市の短期、中期、長期の計画の中で、即というわけではないんでしょうけれども、この間の国のああいいう指針みたいなものが出た段階で、何か変更していかなければならないとか、急きよ手をつけていかなければならないとかというふうなことは生じているのでしょうか。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>先般、国から学校の統廃合についての指針が示されましたけれども、当市で進</p>

	<p>めている適正配置事業、これは 23 年 7 月に策定されたものに基づいて短期、中期、長期という区分でやっているわけですが、内容的なものは当市の適正配置事業が先取りしたような内容になっております。よって、今改めて国のほうで示されたんですが、それによって特段これから変更していかねばならないということは、今のところ考えておりません。</p> <p>これまで進めてきた短期が終了しましたので、次は中期のほうに粛々と取り組んでいきたいなと思っています。ただその中で 1 点、これも適正配置事業の中でも話題になったことなんですけれども、小中一貫教育について国のほうでもこれから推進していくということではありますけれども、当市では今のところそういう考えはないわけでありますので、そういった視点でもまた少し検討を図る必要もあるのかなという部分は教育長とも少し相談をしているところがあります。ただそれが実際にやるかどうかについては、まだまったく白紙の状態です。</p>
大庭委員	はい、ありがとうございます。
武輪委員	<p>4 ページ目の教育指導課の 4 番、小・中学校ジョイントスクール推進事業ですが、この実践研究発表会は事業予定となっておりますが、もうすでに行われまして、教育長からもお話がありました。私も拝聴いたしまして大変感銘を受けました。</p> <p>特に、中居林小学校の地域密着型教育への取組というお話も大変素晴らしかったなと思いますので、是非この 1 月 19 日にセンターのほうに足を運ばれなかったコーディネーターの方々にも、根城中学校もそうですが、この資料等を配布するというようなことができるのか。本当に中居林小学校に関しては良い取組で、直接その場にいた中居林小学校のこの取組に関わった方にお話を伺ったときも、すぐにこういう形でできたわけではなくて、6 年かけて積み上げた結果、こういう上手い形で出来上がったんだというふうなことをお話しされていたんですけれども、是非他のコーディネーターの方にもこの取組を知っていただきたいなと思います。19 日にコーディネーターの方全員が出席されたわけではないと思うので、参加されなかった方に資料を提供するというようなことが可能かどうかということをお聞きしたいと思いますし、できればそうしてほしいなという私の要望です。</p>
嘉瀬教育指導課 実践支援 GL	それぞれの事業で毎年年度末に事業報告書を作成しておりますので、それに掲載予定にはなっております。ただ、コーディネーターの方々で来ていないの方々等にも配付できるように学校のほうと連絡を取りたいと思います。
築瀬委員長	はい、よろしく申し上げます。

<p>武輪委員</p>	<p>また、講演された福島の小学校の校長先生のなぜ今地域密着なのかというお話も、当初、地域密着型教育が始まる段階のときに私は教育委員ではなかったのですが、なぜ今地域密着なのかというふうな疑問をもったのですが、この先生がなぜかということに対してお答えいただいたので私も非常に勉強させていただきました。本当にありがとうございます。</p> <p>6ページの15番にあります青少年指導者養成講座ですが、2月14日に行われるこの養成講座は、「青少年関係団体の指導者及び育成者等の知識を」ということですが、こちらの青少年関係団体というのは、それぞれの地区の青少協の方々ということでしょうか。他に関係団体の指導者というのは、どういう方を対象に行われる講座であるかお聞きしたいと思います。</p>
<p>田中教育指導課 青少年GL</p>	<p>青少協の他には、子ども会関係とか、ちょっと言葉が出てこないのですがキャンプの指導などをよく子ども会に行っている方がおまして、そういう方々を集めてやっています。海洋少年団とか、そういう団体とかがあります。すべての団体の名前が出てこなくて申し訳ないんですけども、そういう団体の方々を集めて行っております。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>青少協も今の海洋少年団もそうですが、やはり最終的に地域密着のところに結びついていくと思っておりますので、こういう青少年の指導者の養成に関しても力を入れて、地域密着を盛り上げていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>私から2つ質問と感想ですが、5ページの教育指導課に関してです。8番のマイブック推進事業については私毎回取り上げているんですが、ここに「各参加書店に対しては、アンケート結果とともに、購入できる本の種類等来年度の方向性を文書で周知する予定である」とあるのですが、これはもうすでに周知したのか。それともこれからでいつ頃なのか。本の種類等の方向性、これはかなり課題になっている部分だと思うのですが、このことについてはどういった方向なのか。今把握している範囲で教えていただきたいと思います。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>この会議については、まだ行っておりません。書店の方は教科書で年度末は大変忙しいというお話もありますので、連休明けくらいにというふうに考えてございます。特に築瀬委員長がおっしゃった購入できる本の種類のあたりは、一緒にお考えいただきたいというふうに考えてございますので、よろしく願いいたします。</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>分かりました。私も何度か発言させていただいていますが、書店さんからのアンケートの結果にもありましたよね。その課題がありますし、保護者からの声、市民からの声にもあったので、やはりこの本の種類については慎重に検討していく必要があると思うので、今後できれば情報共有しながらやっていただければ有り難いなと思っていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>あと一点、同じ5ページの青少年グループの10番の「はちのへ郷土かるた大会」なんですが、これは昨年の定例会でも取り上げたんですが、このかるた大会は、郷土への誇りと愛着を育むということで大変有効な大会であり、もっと重視されるべきだと思っているんですけども、13チーム参加したとあるんですが、今把握できる範囲でいいので、ここ数年の参加チームとか人数がどういう傾向か分かりますか。</p>
<p>田中教育指導課 青少年GL</p>	<p>ちょっと統計的なものは持ってきていませんでした。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>分かりました。私のイメージとしては、人数的にはそう変わりはない。ただ、ある小学校から2チームとか3チームという形で出すことによって、13チームと多くなっている。いわゆる参加団体は少なくなっているんじゃないかという印象をもっています。分けて何チームだから、この13チームというのは延べということになりますよね。例えば、極端に言えば、これが6団体であるかもしれません。1団体が2チーム出せばですね。ですから、そういった点で、人数的には去年とあまり変わりなかったような気がするんですが、チーム数も増えてはいないと思います。</p> <p>その点についてなんですけれども、今回の大会にも行って見たんですけども、大会ですから勝ち負けはつくんですね。優勝とか。でも、閉会式では最後にみんなにちょっとした賞品をあげて、讃え合っていたんですね。そういった微笑ましい和やかな光景があったので、非常にいいなと思っていました。もちろん、この主催は愛の一声市民会議なんですけど、事務局は教育指導課に置いているということでご苦労が多いと思うのですが、そういった意味でこれからずっと続けていきたいものだなという感想をもちながら帰ったんです。</p> <p>このはちのへ郷土かるたというのは、案外知られていないようできて、現在八戸で使われている3年生の国語の教科書のかるたという教材の中の写真資料の一部に取り上げられているんですよ。本文ではないので小さい写真なんですけど、教科書で取り上げられているということは、全国に発信されているということなんです。本市で使われている教科書は、全国の65%くらい占めている教科書会社なので、それくらいの割合で本当は全国発信されているんですけど、地元では</p>

	<p>どうかということを考えると、さらに力を入れていかなければならないなと思っています。</p> <p>私の要望の最後ですけれども、やはり先ほどから出ている地域密着型教育とか地域に誇りと愛着というスローガンのもとに、何とかもう少しこの郷土かるたを広める。あるいは郷土かるた大会の周知を図る。こういったことについて、力を入れていってほしいというのが要望です。よろしくお願いします。</p>
武輪委員	<p>郷土かるたのことにに関してですが、一例を申し上げますと、小学校では1年生は郷土かるた、2年生から6年生までは百人一首をかるた大会として行っている例が多くて、学校内でも1年生は郷土かるたの大会、2年生から6年生は百人一首の大会というふうになっているところもあります。よって、この八戸市の郷土かるた大会に出ようとしたとき、1年生は練習していますから、例えば先生が大会に出ようとお話しされたときも出るメンバーがあるでしょうけれども、2年生から6年生に関しては、学校内では百人一首を主に行っていて郷土かるたをあまりやっていない学校もあるかもしれないので、薄れているのかなということもあると思います。そこはやはり八戸市として、郷土かるたにもっと親しみを込めてというところでは、また違う形で何か策があるのかなというふうにも思います。</p>
築瀬委員長	<p>少し付け足しですが、郷土かるたが作られてからだいぶ経っていますので、内容に今までなかったものがどんどんできていく。例えば、グレットタワーみなととか新名所もできているということで、愛の一声市民会議の会長さんも今使っている郷土かるたの見直し、作り直しといったことも考えなければならぬということも話されていたので、やはりそういったことも一つのきっかけとして取り上げながら、郷土に対する誇りと愛着を育むという点でも強めていっていただければ有り難いなと思っています。</p>
築瀬委員長	<p>次に、「平成27年八戸市成人式について」報告を受けることとします。</p>
田中社会教育課長	<p>(資料「平成27年八戸市成人式について」に基づき説明)</p>
築瀬委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p>
大庭委員	<p>最初の委員長さんの挨拶と今の報告と重なって申し訳ないですが、新成人が自らパイプ椅子を片付けると。その光景を見ていまして、自然な形でスムーズに運んでいましたので、むしろ担当者というか職員が動くよりは、自分たちの成人式なんだという意識で成人が自ら片付けるというのはいい光景だなと思っていました。委員長さんからもあったように、女子が和服でパイプ椅子を運んでいたら、</p>

さっと男子が行きましてそれを奪って3つ4つ男の子が頑張って持って行きましたけれども、ああいう光景なんかも微笑ましいなと思っておりましたけれども、あの方法はいいのではないかなというふうに感じました。

それからふれあいタイムについては、昨年度もお話しましたが、八戸市に住所がなくて成人式の案内がなかった子で、例えば東京にいる仙台にいるそういう子どもたちも、この八戸市の成人式ではふれあいタイムがあって中学校ごとに集まるよという情報がけっこういってまして、自分は成人式そのものへの参加ではないんだけど、そのふれあいタイムに入るということで来ている子たちがいきました。そして、ある子なんかは、実は昨日仲間で集まってクラス会みたいなものをやったんですとか、今日これからやるんですとかというふうな話で、このふれあいタイムは参加した新成人だけではなくて、そういうふうな効果もあるのかなということで、いい企画ではないかなと思います。ただ外に行ってすぐに騒ぐのではなくて、昔を懐かしんで仲間が集まるという一つのいい場所でもあるのかなというふうに思いました。

築瀬委員長

その他、事務局から報告事項はありますでしょうか。

千葉図書館副館長

先ほど武輪委員さんから、図書館の貸出登録人数について質問がありましたけれども、資料がございましたのでお答え申し上げます。25年度末現在の数字ですけれども、67,637人の方が登録しております。八戸市の人口を大体24万人として計算しますと、28%の方が図書館のカードを持っているという計算になります。

築瀬委員長

はい、ありがとうございました。

他によろしいですか。

築瀬委員長

事務局からは以上のような感じです。

最後にその他ですけれども、委員の皆様から何かございますか。

築瀬委員長

それではこれを持ちまして、平成27年1月の教育委員会定例会を終了いたします。

(午後3時09分終了)